

身体の痛苦・不自由度が増  
すに連れて、日本の未来が心配  
になるばかりです。

世界中にある多くの民族  
の中で、日本民族は高い民  
度において今も尚一番だ  
と思います。しかしこの高  
い民度もいつまで保  
持できるか自信がやうい  
でいます。

世界第2位であった一人  
当りのGDPもアツという  
間に20位台の中ばまで  
低下しました。今はまだ  
高い民度も崩れて低下  
する時はアツという間  
のことです。

会社でも学校でも、組織と名のつくものは、荒廃するのは瞬時のことであるのは自明の理です。

日本もその兆があらゆるところに表われてきました。

児童虐待が20万件を越えたと発表されました。

児童を虐待することなど、20件であつても許されないことです。

それが20万件以上のことですので慄然としました。

厚生省発表の統計数値は、

他の経済指標と同じに扱われて

いて、沢山の統計数値の中の

一つに過ぎない扱われ方でした。

この問題の重大さ、被害に遭つて

いる児童への思いの欠片もなく、

血も涙もない発表でした。

しかもこれは表に出た分だけの

ことであつて、裏に隠くされて

事件はもっと多いと推察します。

人口減少しつつある日本は、  
人口増加を図る手を打っては  
いませんが、増加を図るよりも  
今起きている児童虐待を防いで  
被害者の児童を護る方が  
先のことでしょう。

官僚が統計をとっている間にも  
無抵抗の児童が虐待されている  
のです。児童相談所・教育委員  
員会など、児童を護る組織は  
あるのに、殆んど機能していません。  
虐待によって死に至る事件が  
起きると、「ここまで深刻だ  
とは予想していなかった、次は  
このような事が起きないよう  
に対処していきたい」と、録音テー  
プで言うように、いずれも同じことさ  
と言って終ります。

これまで責任をとった人は一人も  
いなかったと思います。こうした  
一つひとつが日本民族の民度を  
低くしているのです。鍵山秀三郎 拜